

川村学園女子大学企業調査結果

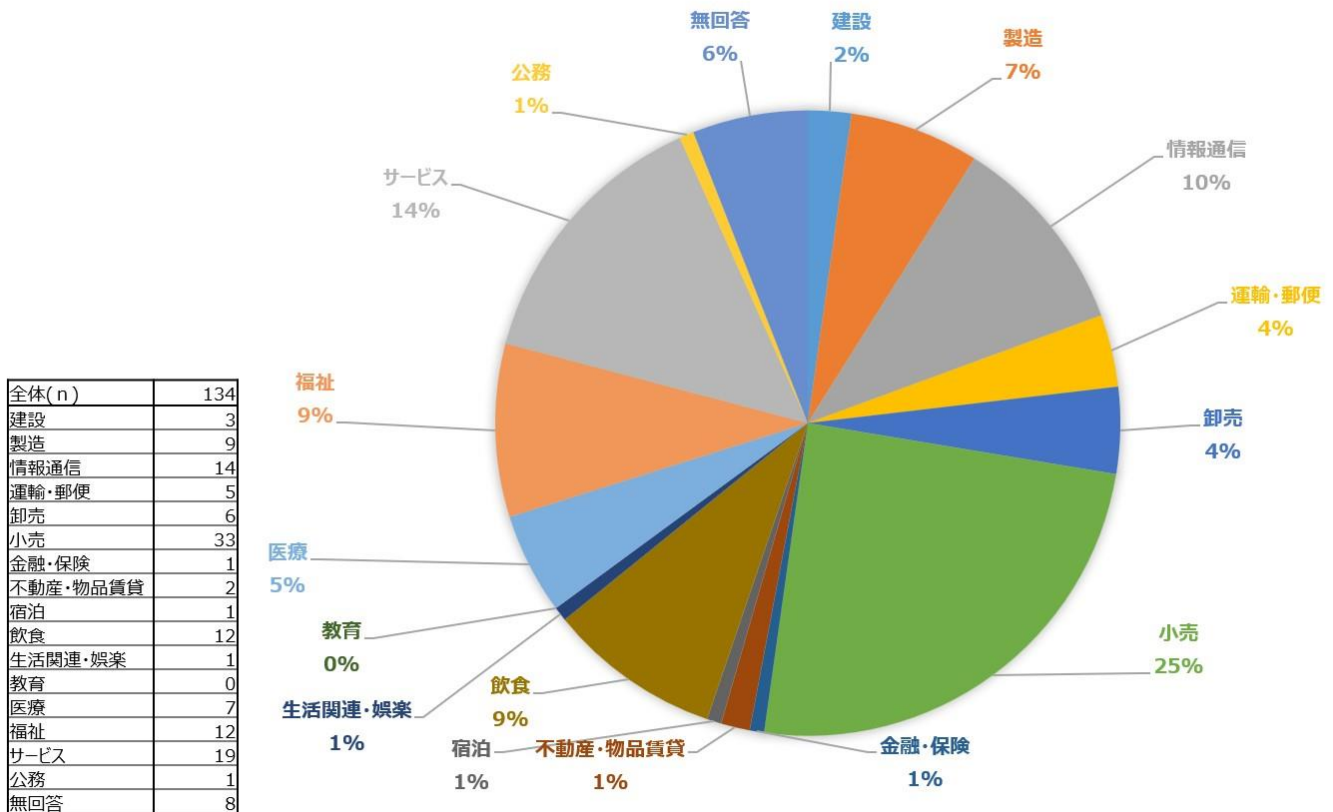
【調査概要】

- 調査目的：主に基礎力の視点から、卒業生の輩出先である企業(産業界)が求める能力並びに卒業生の印象を明らかにする。及び、教育活動の成果や効果の検証及び改善等の学内諸改革にアンケート結果を活用する。
- 調査対象：卒業生採用実績のある企業
- 調査方法：インターネットによるアンケート調査(封書にて依頼し、Web フォームにアクセス)
- 調査期間：2023年7月7日～2023年7月31日
- 発送数：300社(不達30社)
- 集計対象数：134件(同一企業で複数名が回答しているものは有効)
- 回収率：49.6%(母数から不達先を除く)

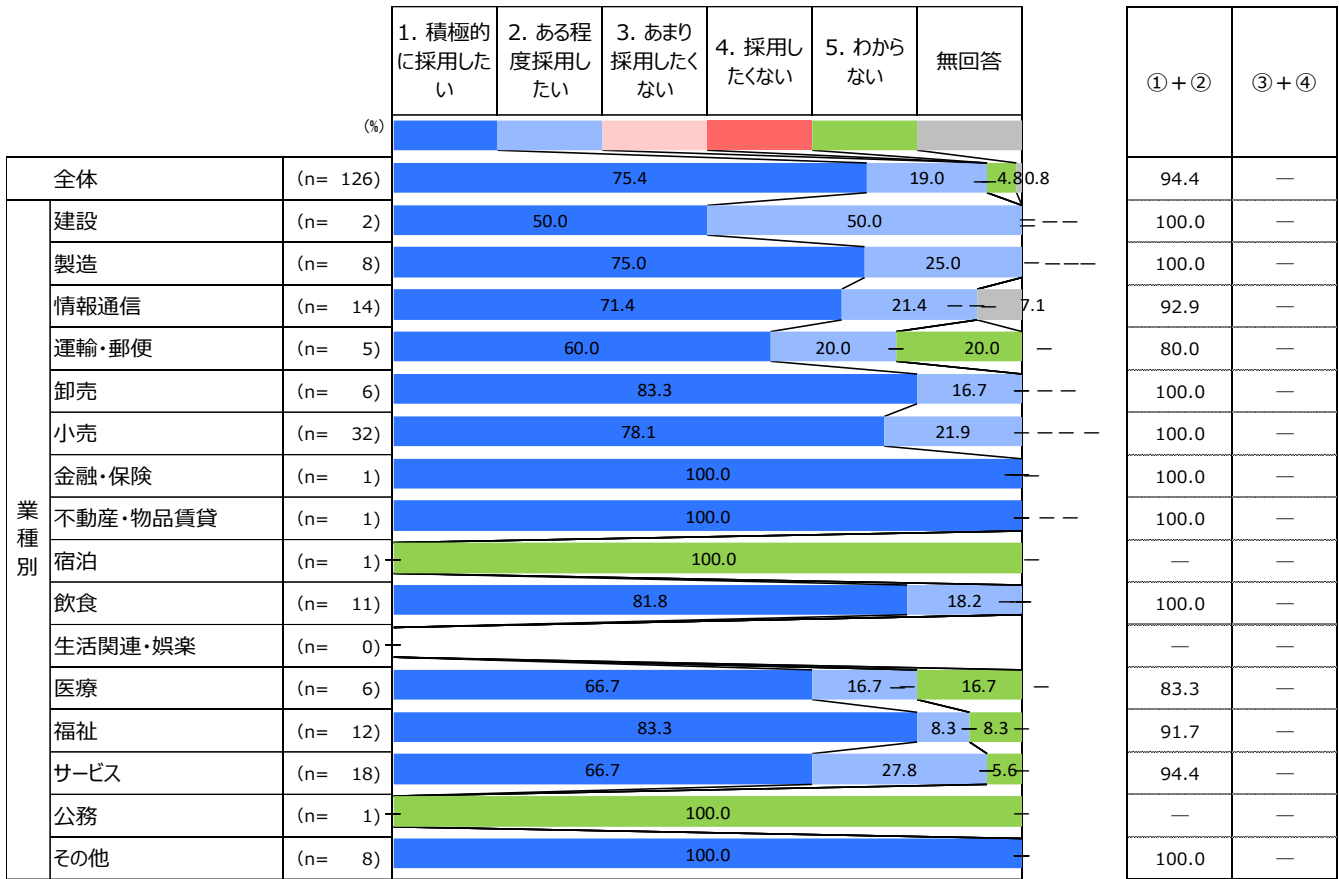
【回答企業・団体等内容】

回答いただいた企業・団体等の業種については、小売業 24.6%が最も多く、次にサービス業 14.2%、情報通信業 10.4%となった。従業員規模については、1,000人～4,999人が 27.6%、300人～999人が 23.1%と多かった。本社所在地については、東京都 46.3%、千葉県 20.9%、茨城県 17.2%と全体の 84.4%を占めている。本学卒業生の採用意欲については、積極的に採用したいが、75.4%と最も多かった。本学学生へのインターンシップ実施については、実施可能又は希望という回答が 70.2%となった。

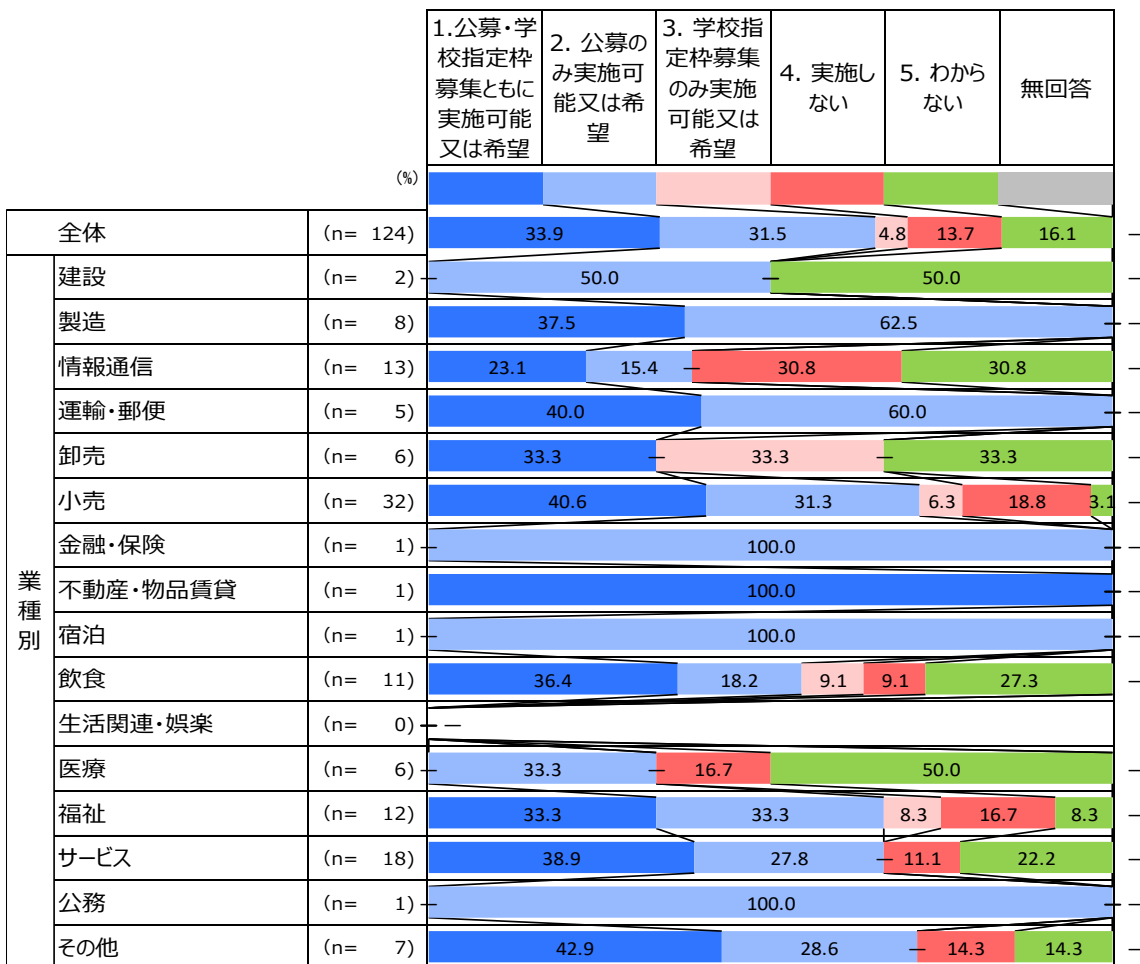
業種



本学卒業生の採用意欲について（全体／単一回答）



本学学生へのインターンシップ実施について（全体／単一回答）



【調査のベースとなる項目】

コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力
	対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
	対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力
大学での学修	専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	
	一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	
	外国語能力	12. 外国語を使う能力	
	データサイエンス能力	13. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	
リテラシー	情報収集力	14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	
	情報分析力	15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	
	課題発見力	16. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	
	構想力	17. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	

この調査項目のベースとなる能力要素は「社会で求められる能力要素(ジェネリックスキル)」を使用。(項目 1~17)
 この能力要素の特徴は、
 ・ すでに産業界からのニーズを検証済であること
 ・ ダブリ・重なりがなく、体系として既に纏めていること
 ・ 独自のライブラリーとして詳細な要素の内容／記述化されたレベル内容を構築済

調査結果を通じて、今後の大学での教育・在学生への指導の検討材料となることを想定している。

※スコアの算出について

【必要度】求めている：5点、ある程度求めている：4点、どちらともいえない：3点、あまり求めていない：2点、求めていない：1点

【評価】優れている：5点、やや優れている：4点、どちらともいえない：3点、やや物足りなさを感じる：2点、物足りなさを感じる：1点

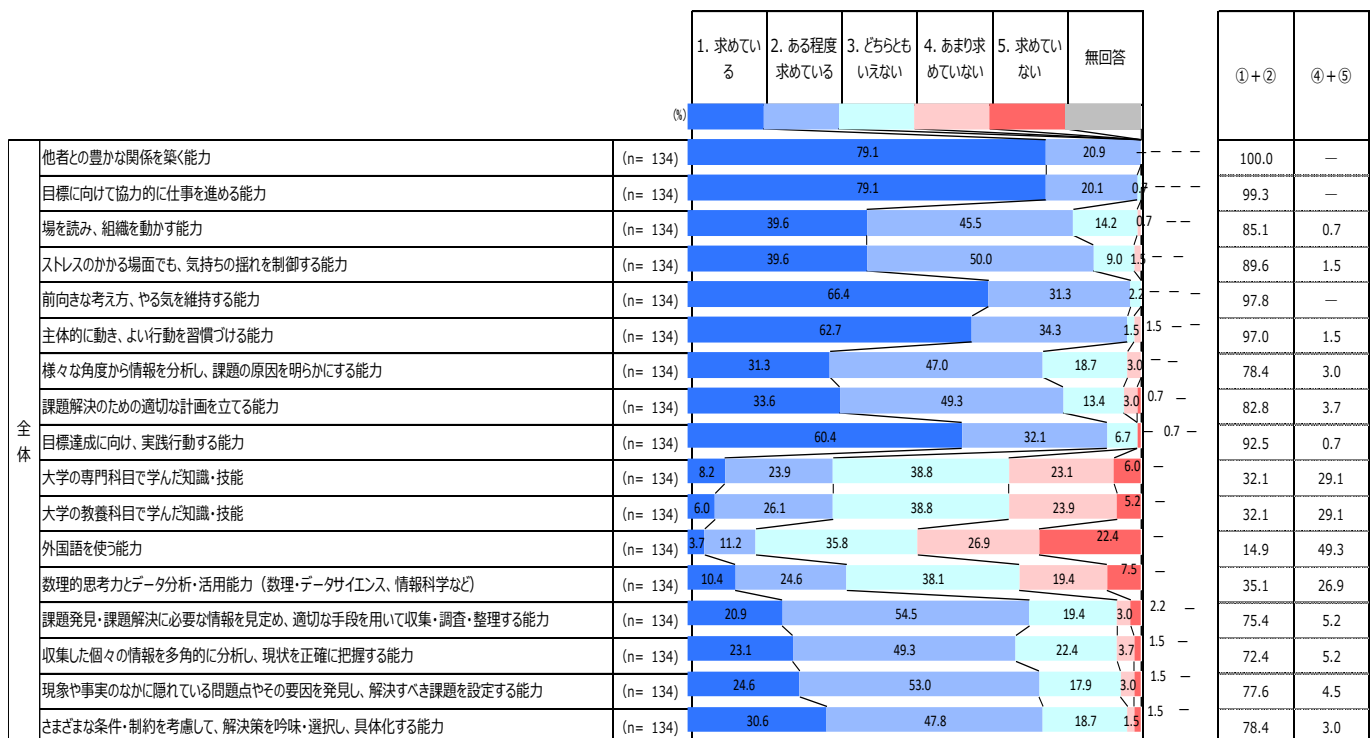
として加重平均値を算出（わからない、無回答は除く）

【調査結果から考察】

1. 必要度と評価 強み・課題

■ 必要度について

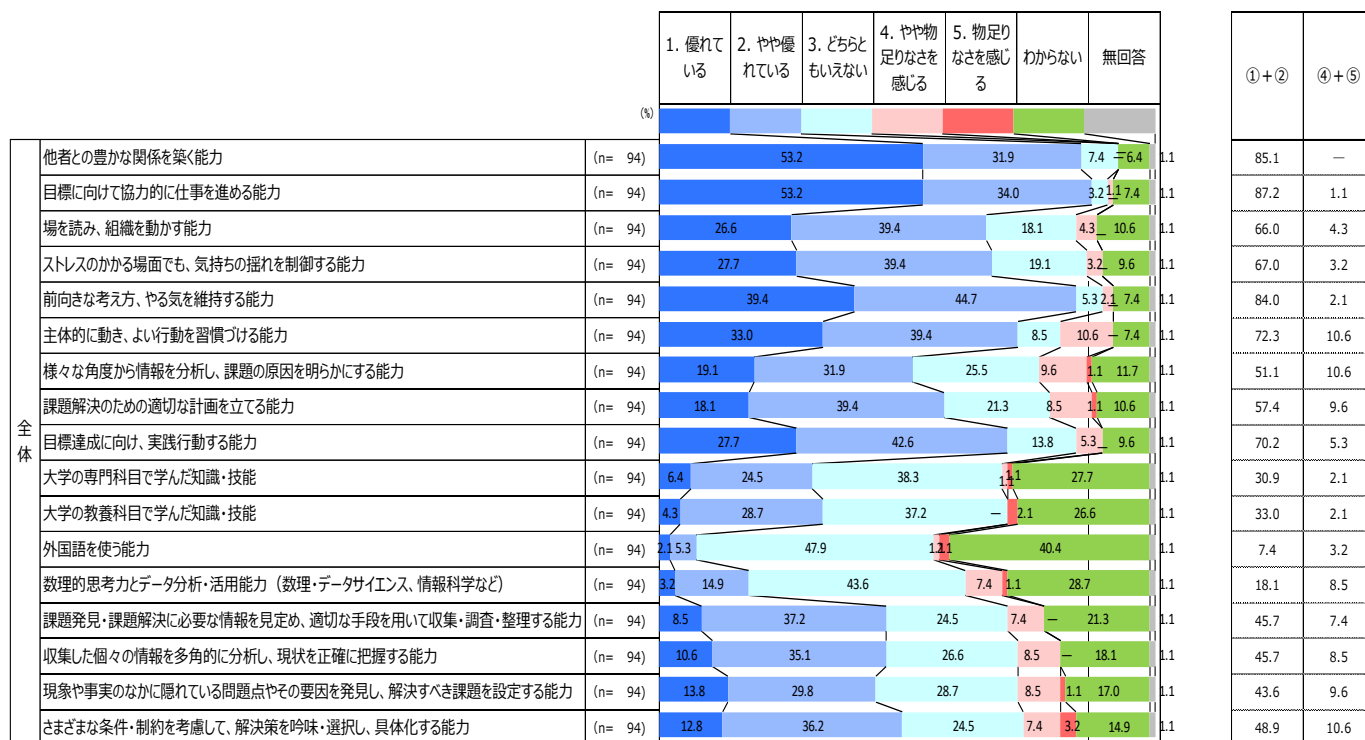
【必要度】(全体/単一回答)



全体で見ると、全項目のうち必要度の上位項目は「1. 他者との豊かな関係を築く能力」、「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力」(対人基礎力)や「5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力」、「6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力」(対自己基礎力)であった。採用段階で社会(企業・団体)が重視している項目はコンピテンシー領域の対人、対自己要素である傾向が見受けられる。

■ 卒業生の評価について

【卒業生の評価】(全体/単一回答)



全体で見ると、全項目のうち評価の上位項目は「1. 他者との豊かな関係を築く能力」、「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力」(対人基礎力)であった。「やや優れている」までも含めると、「5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力」、「6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力」(対自己基礎力)などについてが、本学の卒業生が評価されている項目と言える。

どのような業種・職種に就いても新卒 1 年目から発揮する事が求められているのは、**社会人基礎力の要素が多い**。

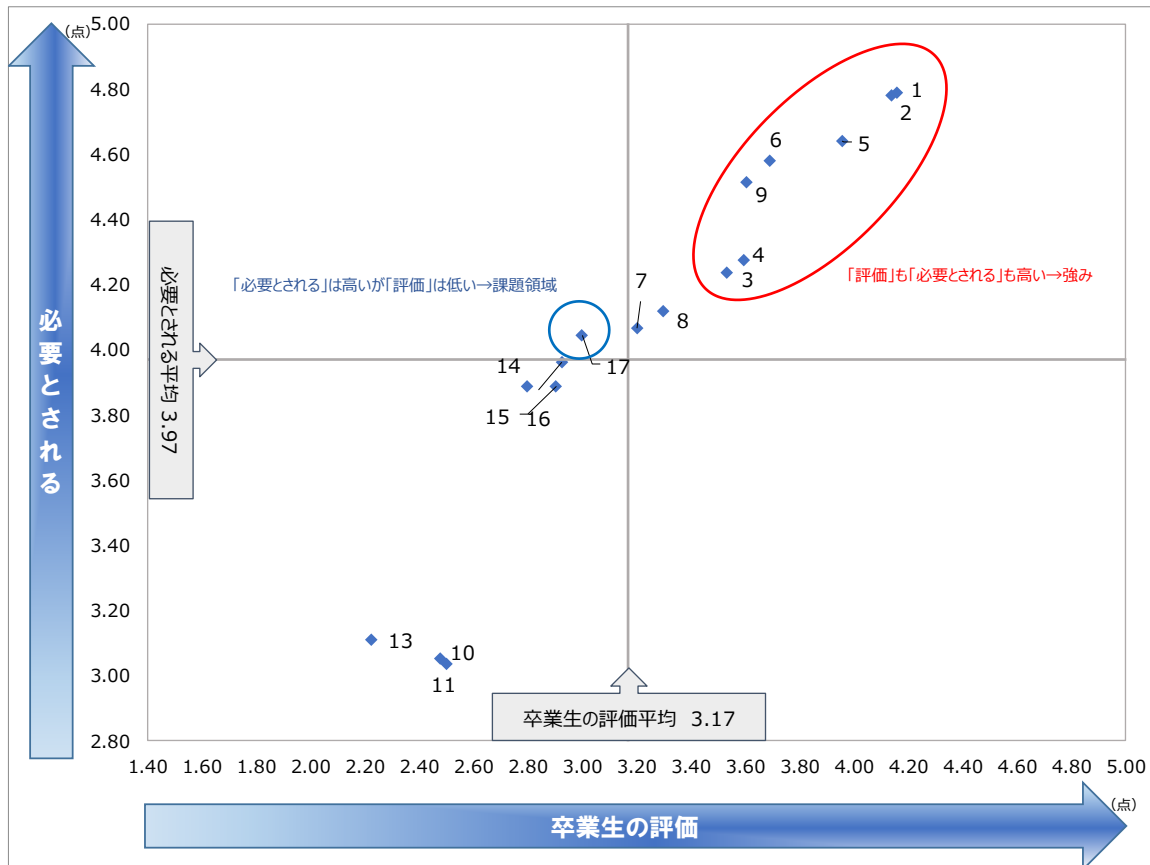
特に対人基礎力の「**親和力**」「**協働能力**」、対自己基礎力の「**行動持続力**」は卒業時点までに修得することが求められている。

また、その中で本学の卒業生が評価されている項目は「**親和力**」「**協働能力**」であり、これらの項目は採用側の要望に応えることができていると言える。

2. ポートフォリオ分析

■全体 必要度 (N=134) 評価 (N=94)

*ただし無回答は除く



■強み(重視しているかつ評価されている項目)

1. 他者との豊かな関係を築く能力
2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
3. 場を読み、組織を動かす能力
4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
9. 目標達成に向け、実践行動する能力

などコンピテンシー領域の対人、対自己要素が多くあげられる。

■課題(重視しているが、物足りないと考えられている項目)

17.さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力

「必要とされる」が平均値以上、かつ、「卒業生の評価」が平均値未満を課題領域と考えれば、リテラシー領域の 17 があげられる。明確に課題領域に現れてはいないが、評価について言及したようにリテラシー要素全般についての卒業生評価は決して高くないが、その中でも 17 は最も育成が必要である。

3. フリーコメント「女子大学出身の学生の採用について」

- ・共学よりも、リーダーシップを発揮できる機会が多いため、主体的・リーダーシップが育ちやすい土壌があると感じます。
- ・きめ細かに学生をサポートする体制があり、就職への意識が高い印象があります。
- ・当社の業界は、どうしても男性が多い状況にありますが、女性視点・感覚も業務を遂行する上では重要になると考えております。また、女性の働きやすさ、活躍という意味では、当社の社内で活躍されている女性の方も多いため働きやすい社会を推進するうえでも、女子大学出身の方につきましても採用したいと考えております。
- ・コミュニケーション能力や、チームワークを重視する学生が多い印象があるので、弊社でその能力を発揮し成功事例となっほしい。
- ・弊社は、女性の雇用を特に重視して採用活動を行っております。日本は、女性が働きにくいと常々感じます。女性がもっと活躍し、雇用として守られる社会が実現できれば、より豊かな社会が実現できると感じます。企業として感じることは、女子大学出身者が活躍することで、共学出身者よりも、女性としての社会的立場が向上すると感じます。
- ・当社の求める人物像には、コミュニケーション能力、主体性、柔軟性があります。女子大学生はマナーやコミュニケーションを大切にするというイメージがあり、社会人としての資質が養われている印象があるため。
- ・医療・福祉・保育事業を行っているため、女性が多く活躍している法人です。職場でのコミュニケーションが女性同士となることが多いので、女子大学で学生時代から女性同士のコミュニケーションを経験していると、円滑なコミュニケーションが取れると思います。また、女性管理職の割合も多いので、主体性を持った自立した女性の育成をしていただけることによって、将来的な活躍を期待しています。
- ・女性特有のコミュニケーション能力の高さ・キャリアアップの具体的なイメージをしっかりと持っていること。
- ・心配り、気配り、人当たり（コミュニケーション）等ありますが、特に女性だから、男性だからといった点では、採用の判断をしないようにしています。
- ・特別にこだわりはございませんが、貴校の卒業生の方々は皆さん社交性やホスピタリティの精神に富んでいる印象です。「人に喜んで頂く事が好き」というお気持ちや精神が、弊社の経営理念「お客様第一主義」との共感につながっていると思います。「人にどう見られているのか」の価値観よりも「ご自身の主体性」や「何ができるか」に価値観を見出せる環境が貴校や女子大学には整っているのでは、と考えております。
- ・ライフイベントを含め、将来のことをしっかり考えている学生が多いように感じます。「なんとなく」で進路を決めない分、ミスマッチを避けることができると考えています。
- ・弊社にとってのメリットとしては他社との差別化と営業力の補強です。体力勝負の印象が強い業界のため元々男社会でしたが、企画営業としては女性の気配りやセンスが活かされ、お客様に好かれることが多いので、しっかり働きたい女性社員は積極的に採用しています。
- ・女子大出身の学生さんは、礼儀正しくマナーもよく、資格取得に励んでいる印象です。接客の仕事の際に大変役立つスキルのため、弊社でも女子大出身の学生さんは多く活躍しています。とはいえ弊社ではまだ女性社員の比率も低いいため、働き方の見直しなどの社内の改善が必要かと考えています。
- ・弊社は職業柄、女性が多い職場でかつチームで行う仕事ですので、女性ならではの細やかさや配慮による円滑なコミュニケーション能力の高さは利点になるかと存じます。
- ・現在、女子大出身であることにベネフィットを特に感じているわけではありません（女子大・短大の出身者は少なくありません）。しかしながら、女性同士のコミュニケーションや、距離感の取り方は特筆すべきところがあると感じています。そのような方がいることによりコミュニケーションが円滑になっている場合があります。活躍の場を与えることにより、立場がその人を育むのではないかと感じております。いまだ管理職になることを恐れる傾向があると感じていますが、恐れることなくチャレンジしてほしいと思います。
- ・女子大学出身の学生さん方に対して採用の価値、意義は正直なところありませんが、学生さんにお話を聞くと就職課等での就活支援プログラム（女性活躍推進など）が充実していると聞きます。その影響か、様々なことに主体的に参加しよう、チャレンジしてみようという学生さんの就活へのマインドがあると感じることが多いです。比較的女性の採用比率が多い弊社としてとても助かっております。